

感染症 ひとくち情報

麻疹患者の報告が出ています

2016年9月8日

東京都健康安全研究センター

1. 麻疹とは

麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症で、一般的には「はしか」と呼ばれることもあります。

感染の約10日後に、38度程度の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39度以上の高熱と共に発しんが出現します。合併症がなければ7～10日で回復します。

麻疹の合併症は、肺炎や脳炎、中耳炎、クループ（のどの喉頭という部分の炎症で、ゼイゼイしたり呼吸困難になったりします）、心筋炎などがあり、重篤な場合、死亡する可能性もあります。

感染経路は、空気感染、飛まつ感染、接触感染で、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%が発症します。



2. 発生状況

国内で感染した麻疹患者の発生が伝えられています。

都内でも患者の報告があり、感染の広がりについては、今後十分な注意が必要です。

3. 予防について

麻疹は、感染力がきわめて強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは十分な予防ができません。

特効薬がなく重症化することがあるため、あらかじめ定められた期間に予防接種を受けることが大切です。

定期予防接種として、原則的に麻疹・風しん混合ワクチン（MRワクチン）を2回接種します。標準的な接種期間は以下のとおりです。まだ、予防接種を受けられていない方は、早めに受けてください。

- 1期：1歳以上2歳未満
- 2期：5歳から7歳未満で小学校就学前1年間

なお、定期予防接種の期間にない方で、「麻疹にかかったことがなく、ワクチンを1回も受けたことのない人」は、かかりつけ医師に相談してください。



4. 医療機関で受診の際には

麻疹患者と接触し、麻疹に見られる症状（発熱や咳、鼻みず、涙がたくさん出る、発しんなど）を呈するなど、麻疹が疑われる場合は、事前に医療機関にそのことを電話連絡してから受診してください。

東京都感染症情報センターの「麻疹（Measles）」のページもご参照ください。

麻疹 東京都

検索

